



平成 26 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

平成 26 年 3 月期連結会計年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	7,500	1,150	1,150	900	70.92
今回発表予想（B）	9,200	2,200	2,250	1,440	112.16
増減額（B－A）	1,700	1,050	1,100	540	
増減率（％）	22.7%	91.3%	95.7%	60.0%	
（ご参考）前期実績	7,443	1,120	1,211	1,037	81.31

修正の理由

（売上高）

当連結会計年度（以下、「当期」）の売上高は、感染管理事業が当初の予想を大幅に上回る見通しから、前回予想比 1,700 百万円増（22.7%増）となる 9,200 百万円を予想しております。

感染管理事業の一般用製品につきましては、主力製品『クレベリン ギェル』を中心に、ドラッグストア等の小売店における早期の店頭展開、調剤薬局やホームセンター等の新規チャネルの開拓、さらに、店頭販促強化や TV CM 増量により店頭消化も進んだことに加え、ノロウイルス等による感染性胃腸炎やインフルエンザ流行の影響を見込むことから、大幅な伸長を予想しております。また、業務用製品につきましても、従来のギェル剤の他に株式会社デンソーと共同開発した『クレベリンカートリッジ（車両用）』や新製品『クレベリン パワーセイバー』等も好調に推移していることから、当期の感染管理事業の売上高は、前回予想比 1,212 百万円増（49.8%増）となる 3,645 百万円を見込んでおります。なお、当期の大幅な売上高増加に伴う市場流通在庫量を勘案し、過去最大の返品が発生した平成 22 年及び平成 23 年 3 月期の 2 期間の返品率を基礎として算定した 500 百万円を追加返品リスクとして保守的に見込んでおります。うち、250 百万円は返品として売

上高の減少を見込んでおり、250百万円は返品調整引当金として見込んでおります。

また、医薬品事業につきましては、国内向けは止瀉薬市場の縮小傾向や競合他社のシェア増加に対し、若年層獲得に向けた広告宣伝や店頭販促等を実施していることから予想を若干上回る見込みであります。海外向けにつきましては、中国市場及び香港市場において、『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』が好調に推移したことに加え、円安効果もあったため、予想を大きく上回る見込みであります。これらにより、当期の医薬品事業の売上高は、前回予想比486百万円増(9.6%増)となる5,534百万円を見込んでおります。

なお、今回発表予想の売上高におけるセグメント別内訳は以下の通りであります。

セグメント別連結売上高(平成26年3月期連結会計年度)

(単位:百万円)

	医薬品事業	感染管理事業	その他事業	売上高合計
前回発表予想(A)	5,048	2,433	18	7,500
今回発表予想(B)	5,534	3,645	20	9,200
増減額(B-A)	486	1,212	1	1,700
増減率(%)	9.6%	49.8%	9.8%	22.7%
(ご参考)前期実績	5,049	2,374	19	7,443

(損益面)

感染管理事業の躍進により、売上総利益も当初の予想を上回る見通しであります。また、販売費及び一般管理費につきましては、当初予想に比して販売費や業績連動賞与の追加計上による増加を見込んでおりますが、売上高比率は予想を下回る見込みであります。これらにより、当期の営業利益は、前回予想比1,050百万円増(91.3%増)となる2,200百万円を予想し、また、経常利益は前回予想比1,100百万円増(95.7%増)となる2,250百万円を予想しております。

さらに、特別損失に本社機能移転に伴う現オフィスの撤去費用等136百万円を見込んでおりますが、当期純利益は前回予想比540百万円増(60.0%増)となる1,440百万円を予想しております。

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上